

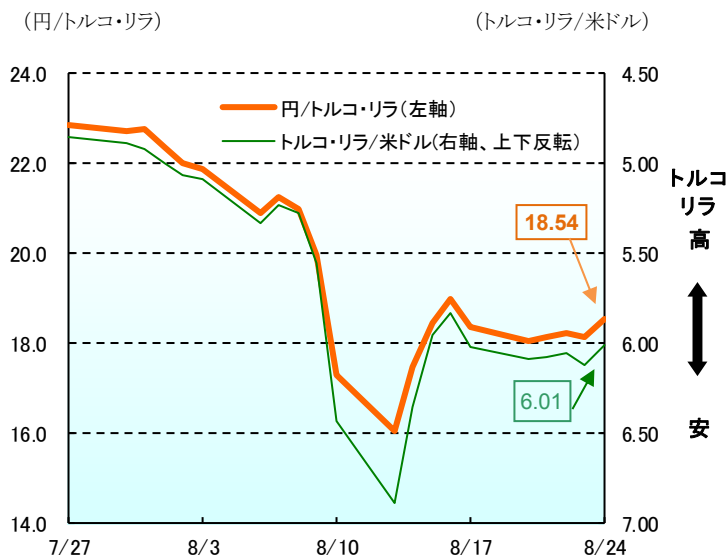
【2018年8月18日～2018年8月24日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともにほぼ横ばいでした。債券市場は20日（現地）の半日取引を除き、休場でした。

トルコ・リラはイスラム教の犠牲祭の連休のため、市場参加者は少なく、対米ドル・対円ともにほぼ横ばい圏での小動きでした。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年7月27日～2018年8月24日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

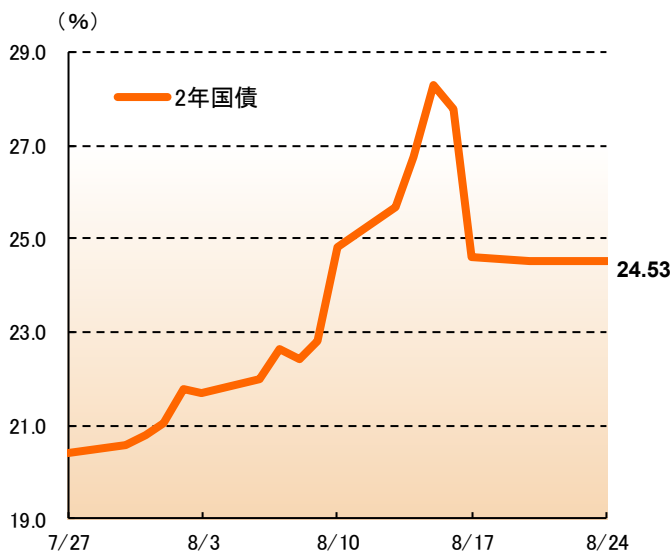
【2】今週の見通し

今週のトルコ市場は、連休明けの市場参加者の動向に注目が集まります。

米国との関係を巡っては、米国側は引き続き米国人牧師の釈放を求めています。釈放されなければ追加制裁の可能性が高まり、トルコ・リラの下押し圧力になります。今週も、トルコ・リラの動きについては予断を許さない状況が続いています。一方、外国人投資家によるトルコ資産への資金流入も観測されています。

経済指標では設備稼働率や貿易収支が発表される予定です。また、週次の対内証券投資の動向にも注目したいと考えています。

【トルコ 金利推移】（2018年7月27日～2018年8月24日）



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>